

大学院進学は世界的視野で。



海外の大学院で修士・博士の学位を取得する。その夢を実現できる方法があります。

授業料や生活費等をサポートする奨学金があります

<対象者>

- 修士の学位取得を目的とする方:35才未満
 - 博士の学位取得を目的とする方:40才未満
 - 日本の大学等を卒業した方、又は海外の大学等を卒業した方
- ※その他にも要件がありますので、詳細は右のQRコードより確認ください。
※上記要件は、2019年度募集のものです。

<支援内容>

例えば 国の海外留学支援制度(大学院学位取得型)の場合 **▶返還不要**
最大総額約430万円/年を支給
 奨学金月額:89,000円~148,000円 ※留学先の国・地域により異なります
 授業料:年間250万円を上限とする実費額
※上記金額については、政府予算の成立状況により変更される場合があります
 他にも、さまざまな団体や企業が提供する多種多様な奨学金があります

<支援期間>

- 修士の学位を取得するコースは2年、博士の学位を取得するコースは原則3年を限度

<採用人数>

- 95名
- ※2019年度募集時

右のQRコードからアクセスできます



あなたに合った奨学金を検索することができます。
 また、海外の大学院への進学に役立つ情報や各種説明会も紹介しています。

海外留学支援サイト <http://ryugaku.jasso.go.jp/>

右のQRコードからアクセスできます



<先駆者からのエール> 挑戦してほしい! 海外の大学院という選択

学びの質と経験値の高さを実感!

アリゾナ大学 在学中

種田修三さん(北海道大学卒業)

有用微生物の農業への応用を目的に、健康な植物の葉に常在する微生物を研究しています。海外の大学院を意識したのは、大学4年時の米国留学でレベルの高い教育に感銘を受けたため。実際、研究と教育の質の高さを実感。さらに、海外で自分を見つめ直す機会は人生を考える上でとても有益だと思います。



長期間の博士課程を支えてもらえた!

ロンドン大学キングス・カレッジ・ロンドン 修了

ミラー富永枝里香さん

(一橋大学・日本学術振興会特別研究員PD(現職))

専門は国際関係史で、テニユアつきの職(講師・准教授など)を意識し、有利とされるイギリスでの博士号取得を目指しました。博士課程でも、長期間支援してもらえる日本学生支援機構の奨学金はとても貴重でした!



“グローバルな大学院進学”をスペシャリストが強力サポート!

留学相談ホットライン

専任の留学カウンセラーが、海外の大学院進学に関する基本的な疑問にお答えします。相談はすべて無料! 右記のオンライン相談フォームをご利用ください。

<こんな質問ができます>

大学院選びのポイント/留学までのスケジュール/日本の大学院との違い/費用 など

オンライン相談

QRコードもしくは下記の

「海外大学院進学お役立ちガイド」からお問い合わせください。



説明会・セミナー

海外大学院進学の特化型セミナーを開催します。

●「海外の大学院進学のための説明会」

大学生が海外の大学院への進学を検討する上で参考となる基本情報を提供する説明会

●「グローバルな大学院進学を考える集中セミナー」

グローバルキャリアの考え方と設計演習に加え、大学院願書や奨学金申請、履歴書などの書き方などを実践的に学ぶワークショップ型セミナー



国際学会等参加補助企画

海外で開催される国際学会へ参加し、将来の指導教員とディスカッションを行う学生に対して、旅費の補助を行います。

詳細は
コチラ

「トビタテ! 留学JAPAN」公式サイト内

大学生のための海外大学院進学 お役立ちガイド

https://www.tobitate.mext.go.jp/univ/graduate_school/index.html

(留学相談ホットラインや説明会の案内の他、体験談や奨学金情報など、海外大学院進学のためのお役立ち情報を掲載しています)



スタートが早いほど、世界はあなたに近づきます。

検討から進学までのスケジュール

大学1~2年生

大学院留学を選択肢のひとつとして卒業後のキャリアを考える! 必要な情報を収集する!

- 大学院留学フェアや説明会などに参加
- 留学カウンセリングを受けて、必要な英語力・学力・費用等を確認する
- 模擬テストなどで英語力の現状を把握する

大学1~2年生

進学先を検討し、計画的に準備を進める!

- 留学実現のための準備計画を作成する
- 英語テスト(TOEFL/IELTS)や学力テスト(アメリカの場合はGRE)の受験対策を開始する
- 目指したいキャリア像などを考え要求される知識、経験などを把握する

大学3年生

志望大学のリストを作成する!

- 入学要件やカリキュラムを確認する(※学部の特攻との関連性が求められる場合もあるので要注意)
- 大学担当者が来日するフェアやセミナーに参加する
- 各大学のサイト等から情報を確認し、志望大学リストを作成する
- 要求されるテストスコアを3年次終了までに取得する

大学4年前半

出願書類や締切を確認する! 必要があれば面接対策!

- 担当教授等へ推薦状の作成を依頼する
- 出願書類(英語スコア、エッセイ、推薦状等)を用意する
※上位大学・人気大学ほど出願の締切が早い傾向があるので注意しましょう。
- 面接(インタビュー)を課している場合もあるので対策をしておく

大学4年後半

秋から春にかけて出願を完了!

- 審査に時間がかかる大学もあるが、合否通知が受領できない場合は大学に問い合わせる
- 早めに合格を得られない場合の追加志望校への出願を行う

大学4年後半~卒業

入学に向けての準備を進める!

- パスポート取得、ビザの申請、滞在先の手配、保険加入などの渡航手続きを行う
- 英会話やエッセイ、発表等に必要アカデミック英語の修得を開始する

卒業後~

いざ、世界へ!

- 留学生オリエンテーションに参加し、日常生活をスタートさせる
- ファウンデーション・コースから開始する場合は授業対策に専念する

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）

2020年度海外留学支援制度（大学院学位取得型）「大学とりまとめ応募」

学内募集要項

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）（以下「機構」）による、修士又は博士の学位を取得するために留学する日本人学生等への奨学金給付（国費）の支援制度です。

申請希望者は、本学内募集要項及び機構ホームページを確認の上、下記の資料（機構のホームページよりダウンロード可能）を熟読し、現在所属する学部又は研究科・教育部（以下「部局」）を通じて申請書類を提出してください。

（本制度 機構 URL https://www.jasso.go.jp/ryugaku/tantoshastudy_a/long_term_h/2020.html）

2020年度海外留学支援制度（大学院学位取得型）募集関係資料

- 募集要項（大学取りまとめ応募用）
- 願書記入例及びよくある質問Q&A（共通）
- 申請の手引き【大学取りまとめ応募・応募者用】

1. 応募資格

- （1）別添機構の募集要項「5. 資格要件」を全て満たし、且つ次の条件を満たす者。
- （2）申請時に本学の正規課程に在籍する者。

注意1：派遣決定の際には、各自渡航前に、留学に係る渡航日から帰国日までを保険期間とする海外旅行保険・留学保険等に必ず加入すること。

注意2：一般的な留学のための情報や危機管理等について、本学ウェブサイトを参照すること。
<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/voyage-index.html>

2. 提出物

① データ提出

- ・ 願書ファイル（様式1）Excelファイル
- ・ 記述ファイル（様式2）Wordファイル
 ファイル名は「氏名_2020 様式.xlsx」「氏名_2020 様式.docx」へ変更してください。
 ※氏名は全角カタカナとすること

② 紙媒体

- ・ 代表的論文の抜粋（任意様式：A4用紙2枚程度）
- ・ 推薦状2名分（所定様式：厳封のまま）
- ・ 留学先大学の情報（ホームページの写し等）
- ・ 大学学部以降の成績証明書 **原本**（学部を含む大学入学後全学期分）
- ・ 大学学部以降の卒業（修了）証明書又は見込証明書 **原本**
- ・ 在学証明書 **原本**
- ・ 日本国籍又は永住許可を証明する書類の写し
- ・ 留学先大学からの入学許可書の写し <応募時に取得している者のみ>
- ・ 英語能力試験証明書の写し <留学先での使用言語が英語の者>
- ・ 語学能力試験証明書の写し <留学先での使用言語が英語ではない者>

- ・語学能力証明書（所定様式） <語学能力試験を実施していない言語の場合>
- ・ジョイント・ディグリー、ダブル・ディグリー・プログラムの概要が分かるパンフレット等 <対象となるプログラムによる留学の場合>

※ 応募書類に欠落（不足）や記入漏れ等があった場合には審査の対象にならないこと、また機構が応募書類を受理した後は応募書類の差し替えや訂正は認めていないことを踏まえ、十分留意した上で書類を作成すること。
(例年、留学先大学に関する添付書類の不備が多く見られる。)

3. 提出先

理学部・理学系研究科学務課教務チーム（学部担当） kyoumu.s_AT_gs.mail.u-tokyo.ac.jp（理学部1号館2階）

※機構又は教育・学生支援部国際支援課への直接申請は不可。

4. 提出期限

現在所属する部局が指定する募集締切日 2019年10月1日（火）正午

※機構の募集要項「9. 応募方法」記載の提出期日とは異なるので注意すること。

5. 採用までの流れ

提出された申請書類に基づき、機構における書面審査および面接審査（書面審査合格者のみ対象）を経て、2020年3月上旬を目途に本学宛に通知される。

6. その他

- ・採用決定後の奨学金等の支給、採用の辞退、留学期間の変更等については、機構ホームページ掲載の事務手続きの手引きを参照すること。
- ・支援額については、予算の状況により金額に変更が生じる場合がある。

7. 問合せ先

理学部・理学系研究科学務課教務チーム（学部担当） kyoumu.s_AT_gs.mail.u-tokyo.ac.jp（理学部1号館2階）

参考：平成26年度東京大学からの申請者21名、うち採用者13名
平成27年度東京大学からの申請者28名、うち採用者18名
平成28年度東京大学からの申請者39名、うち採用者22名
平成29年度東京大学からの申請者39名、うち採用者20名
平成30年度東京大学からの申請者40名、うち採用者16名
2019年度東京大学からの申請者22名、うち採用者9名